

会議録

会議の名称	第8回西東京市放課後子供教室あり方検討委員会
開催日時	令和8年1月26日（月）午前10時00分から午前11時30分まで
開催場所	イングビル2階第2会議室
出席者	委員：川原委員、伊藤委員、河野委員、渡辺委員、飯海委員、門倉委員、福所委員 事務局：大内地域学習推進課長、横川地域学校連携係長、野田主事、上加世田主事
議題	(1) 「西東京市放課後子供教室のあり方について（案）」について
配付資料	資料1 西東京市放課後子供教室のあり方について（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

議題（1） 「西東京市放課後子供教室のあり方について（案）」について

○事務局より、資料1 西東京市放課後子供教室のあり方について（案）について、前回定例会からの変更点等を説明。

- ①「週5日」の表現について、「平日を中心とした開催日の拡充及び平準化」へ
- ②「民間委託」や「民間活力」、「民間事業所」といった表現を「民間事業者」に統一
- ③「地域住民の参画を維持すること」について明確に表記

○事務局 : その他、ご意見いただいた各文言の微修正についても修正を行った。
また、より簡潔に本委員会での結論が明確に伝わるよう、項目の取捨選択や構成を再検討し、修正を行った。最終報告に向けて、お気づきの点等がございましたらご意見いただきたい。

●座長 : 順番を入れ替えたこと、参考資料を後ろにまとめたことで、趣旨が明確となった。特に3ページ目から4ページ目の報告書のコアになる部分が分かりやすくなった。
単純校正についても併せて、ご意見等あれば、挙手にてご発言願いたい。

●座長 : 本検討委員会で実施したアンケート調査、ヒアリング調査の結果は各小学校施設開放運営協議会の皆様もご覧いただけるのか。
他の小学校施設開放運営協議会の考え方等が参考になるのではないかと考えている。

○事務局 : 市ホームページ上にて公開しており、閲覧できるようになっている。

●委員 : 学童クラブとの連携において、きめ細やかな配慮ができる事業者を選定していただきたい。

●座長 : 事業者選定はどのような方法を検討しているのか。

○事務局 : 令和8年度は事業者選定・導入に関するプランニングを実施し、実際の事業者選定・導

入に関する動きは令和9年度で実施することを検討している。

- 副座長 : 事業者が入った際、事業者が使用できる場所の確保は必要となるか。
- 事務局 : 場所の確保については学校と調整し、学校の状況を踏まえた対応が可能である事業者を選定していきたいと考える。
- 副座長 : 資料1の13ページ、14ページの運協Aから運協Rの並び順だが、例えば実施頻度の多い順など、あり方検討委員会として特に見せたいポイントに着目した並び順にするのはいかがか。
- 事務局 : ご提案の通り修正を検討する。
- 座長 : アンケート調査について調査方法を記載するのはいかがだろうか。
- 事務局 : ご提案の通り修正を検討する。
- 委員 : 学習活動の機会提供について、習い事を始めることに関して、金銭面的に見送るご家庭もあると思うので、無料で多くの体験活動に参加できるようなプログラムを組める事業者を選定いただきたい。
- 座長 : その他、特にないようでしたら、「西東京市放課後子供教室のあり方について(案)」はこちらで確定としたいがよろしいか。

一同同意

- 座長 : ただいま確定いたしました最終報告を踏まえまして、最後に委員それぞれのお立場から今後の西東京市の放課後子供教室に対して求めること等、ご所見やお考えをみなさまにお話いただきたい。
- 委員 : 今後、放課後子供教室の運営主体が小学校施設開放運営協議会であっても、民間事業者であっても、互いに協力し合えるような業者を選定していただき、一緒に子供たちを見守っていききたいと思う。良い方向に進むことを願いたい。
- 委員 : まとめたあり方を今後どのように市で活かしていくかが重要であると考え。現在の放課後子供教室の運営主体を担っていただいている小学校施設開放運営協議会の皆様が誇りをもって携わっておられることを再認識でき、民間事業者を導入後も関わっていききたいという小学校施設開放運営協議会の皆様のご意向も知ることができた。今後は予算化していくタイミング等を行政が中心となって考えていくことになるが、小学校施設開放運営協議会の皆様としっかり話をし、良い形での民間事業者の導入等について考えていきたい。
- 委員 : 学童クラブは過密化が喫緊の課題であり、低学年については大切な生活の場となっている一方で、中学年以上は学童クラブの他にも活動の場が広がり、選択肢が広がればと考えている。民間事業者を導入するにあたっては、様々な主体が協力し合えるような事業者を選定し、学童クラブとも連携が取れるようお願いできればと考えている。
- 委員 : まとめたあり方にもあるように地域の実情に合わせた事業展開や、これまで放課後子供教室に携わってきた地域の方々の気持ちを大切にしながら進めてほしい。現在、放課後

子供教室に携わっている地域の皆様の中には、自分たちの力だけでは今後の運営が厳しいが、民間事業者と協力しながら運営していくという関わり方であれば、今後も継続して放課後子供教室に携わっていきたいと考える方もいるのではないかと。また、学校終了後、家に帰らずそのまま参加できる校庭開放を今度の全学年一斉下校の日を実施してみることにになり、約125名の申し込みがあった。需要があることを再認識した一方で、申し込みや当日の参加にあたる印刷物の作成や印刷作業、学童連携に関する各種調整など多くの時間を要するが、事前準備等は謝金の対象外である。校庭開放や学習機会提供が進まない学校には事業実施の負担に対する対価のアンバランスさも影響しているのではないだろうか。

- 委員 : これまで現場の立場から意見を述べさせていただいた。懸念していた人手不足に関して、民間事業者の導入の選択肢が示されたことは持続可能な運営に向けた大きな一歩であり、期待している。運営側が無給で対応することにならないことを願いたい。
- 副座長 : 本検討委員会終了後、校長会で毎回状況を報告していたこともあり、現在の小学校長においては話が伝わっている状況である。民間事業者の選定にあたっては、小学校長に話が浸透している状況の中で話が進めば良いと考えるので、良きタイミングで早めに動かれることを勧めたい。子供たちがより充実した放課後の時間を過ごせることを願いたい。
- 座長 : 全体のアンケート調査やヒアリング調査を丁寧に行っていただき、現在の放課後子供教室の運営に携わっている地域の皆様が地域の子供たちのために一生懸命取り組まれていることがデータからも伝わってきた。今後、民間事業者が導入されることになった場合も、現在の放課後子供教室に携わっている地域の皆様が抱えている熱量や思いに賛同いただける事業者と共に歩いていくことが望ましいと考える。また、視察を通して印象的であったことが、子供の権利や子供が主体的に放課後の過ごし方を選べるということを強調されていた点である。委員の皆様と勉強しながら、今回のあり方にたどり着いたことを感謝したい。

その他

- 事務局 : 改めて、今年度1年間にわたり本市の放課後子供教室事業にご助力をいただきましたこと感謝いたします。これまで全8回開催された委員会のなかで、それぞれのお立場から様々な貴重なご意見やご感想をいただき、我々事務局の気がつきにくい視点から多くのご所見をいただきましたこと、とても有意義なものとなった。皆様からの貴重なご所見をもとに今回策定されましたこの最終報告を本事業の指針とし、これからの放課後子供教室事業に取り組んでまいりたい。引き続きお力添えいただきますようよろしくお願いいたします。来年度については、全3～4回ほどの開催を予定しており、主に実際の民間事業者の導入に関することや、事業の進捗についてご報告をする場を想定している。本会議でいただいた意見以外にもご意見を頂戴する期間を設けさせていただくので、引き続き追記・修正等のご協力をいただきたい。
- 事務局 : 改めて今年度1年間、それぞれの立場を代表して、お忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございました。放課後子供教室のあり方に関しては平成30年に社会教育委員の会議で提言をいただいたところではありますが、当時は小学校施設開放運営協議会に事業実施をお願いすることを前提としており、学習機会提供未実施校に対して実施回数を増やすこと等が中心に話されていた。その際にも担い手について、この先新たな力の導入の検討も必要であることは議論されていた。そこから5年・6年経過し、引き続き小学校

施設開放運営協議会の皆様にご尽力いただきたいと思いつつ、市の放課後子供教室事業として子供たちの居場所を確立させることが使命であると考えている。本事業に携わってくださる皆様の立場等も併せて、また市としての軸を携えながら、作成いただいたあり方に基づいて具体的に来年度以降進めていきたい。来年度は適宜皆様方へ報告させていただきご意見を賜りたいと考えている。

あり方については、本検討委員会で最終確認をいただいたところだが、微修正などが生じた際には皆様に報告をさせていただきたいと考えている。改めて、1年間誠にありがとうございました。